



第53号

発行 府中市消防団
編集 府中市消防団広報委員会
(府中市行政管理部防災危機管理課内)
(TEL 042・335・4068)

【消防団出動件数(令和元年1月から令和2年12月まで)】
災害件数(誤報を含む) 45件
災害出動延べ人数 2,228人
その他出動(訓練など)件数 79件
その他出動(訓練など)延べ人数 2,535人

府中市消防団出初式
令和3年1月7日(木) ルミエール府中

新春恒例の伝統行事である府中市消防団出初式が、令和3年1月7日(木)に挙行されました。

出初式は、消防団の勇姿を市民に披露するとともに、団員にとっては、日頃からの訓練の成果を発揮し、ご臨席いただいた方々からの激励を受け、改めて地域の安全・安心のために力を尽くすことを固く誓う場でもあります。

本年の出初式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会場を府中公園からルミエール府中へ変更し、消防団による消防ポンプ車の市内パレードや一斉放水、睦消防組による木やり行進、梯子のりの実演などは中止し、来賓招待、一般観覧を取り止めたほか、式典内容などを大幅に縮小し、消防団関係者(府中市消防団幹部、府中消防署・府中市の代表者)のみで執り行いました。

出初式での表彰状の授与は省略となりましたが、高野市長から消防団歴15年の団員の方々に感謝状が授与され、本間団長から、永年勤続表彰として消防団歴30年、25年、20年、15年、10年、5年の団員の方々に表彰状が授与されました。

竹石府中消防署長からは、優良分団表彰として、第3分団、第6分団、第12分団、第13分団、第14分団、第15分団が表彰され、更に東京都三多摩消防団連絡協議会からは、優良分団として



▲本間団長による訓示



▲高野市長による告示

歳末特別警戒

令和2年度歳末特別警戒を実施しました。
この歳末特別警戒は、毎年12月28日～30日の3日間で行い、警戒本部を府中市中央防災センターに、分所を各防災センター(分団詰所)に設置し、消防ポンプ車にて、警戒区域内に対する巡回広報活動を実施しております。

今年の警戒においては、市長、都議会議員及び府中消防署長が各防災センターへの巡察を2日間に分けて行い、各分団に対して激励の言葉をいただきました。



▲団本部による巡察の様子

永年勤続者表彰

【表彰を受けて】
この度、府中市消防団永年勤続表彰25年を賜りました。

平成7年に府中市消防団第8分団に入団をして以来、多くの地域の方々や団諸先輩、同期団員、後輩団員をはじめ、多くの市職員、消防署員の皆様にご指導ご鞭撻、叱咤激励をいただきました。改めて心から深く感謝と御礼を申し上げます。

平成22年より本団副団長の辞令を受け、本年度11年目の活動となりました。これからも消防団活動に対して、愛する郷土のため微力ながら尽力し



団本部 副団長 堀江 一男

広報委員長コラム



広報委員長 第8分団 加辺 良輔

お世話になっております。本年度府中市消防団広報委員長を務めさせていただいております第8分団の加辺と申します。

おかげ様で消防団だよりも今回53号を迎える事となりました。

残念ながら本年は新型コロナウイルスの影響下において色々な制限下での活動となりました。しかしながら活動を怠る事は断じてありません。我々消防団としては3密を避けたり、マスク着用等、必要最低限の措置を取りながら市民の安全のために日々防災活動を行っております。

今回の広報誌ではコロナ禍で年度行事や会議がなかなか開催できない中で皆で一生懸命作成させていただいた紙面となります。より深く消防団をご理解いただければ幸いです。

これからも本間団長を筆頭に消防団活動に動しんでまいりますので宜しくお願い申し上げます。

30年勤続(1名)			10年勤続(18名)			5年勤続(16名)		
第18分団	団員	垣内 敦	第2分団	分団長	田中 一彦	第1分団	団員	遠藤 泰司
25年勤続(5名)			第2分団	副分団長	原田 一	第2分団	団員	中信 慶紀
本 団	副団長	堀江 一男	第3分団	団員	吉野 靖雅	第4分団	団員	山下 輝己
本 団	副団長	川崎 好之	第4分団	班長	河内 大裕	第6分団	団員	鈴木 辰朗
本 団	副団長	村井 雅一	第4分団	団員	加藤 善規	第6分団	団員	吉川 健太
第7分団	分団長	秋山 敏行	第7分団	団員	小林 研人	第9分団	団員	池田 伊晴
第12分団	分団長	佐伯 佳孝	第7分団	団員	藤島 裕也	第9分団	団員	関谷 亮平
20年勤続(8名)			第8分団	団員	佐々木 俊	第9分団	団員	渡邊 真宏
第1分団	分団長	比留間 隆博	第8分団	団員	清水 航	第10分団	団員	鎌内 義樹
第3分団	部 長	加藤 泰裕	第9分団	団員	鴨下 貴仁	第10分団	団員	高橋 正悟
第5分団	副分団長	内海 展行	第10分団	団員	大井 真一	第11分団	団員	奥井 大輔
第5分団	部 長	細野 侑秀	第12分団	団員	原田 賢二	第12分団	団員	齋藤 優介
第5分団	団員	内海 敏文	第13分団	団員	北谷 豪	第13分団	団員	松島 貴志
第8分団	副分団長	久村 聡一	第14分団	団員	本間 淳	第14分団	団員	末吉 裕希
第8分団	班長	松本 健司	第14分団	団員	内藤 大輔	第14分団	班長	鎌田 貴浩
第13分団	分団長	林 雄一	第16分団	団員	土屋 勇貴	第16分団	班長	鎌田 貴浩
15年勤続(17名)			第18分団	団員	石井 修	第18分団	班長	森田 吉隆
第1分団	副分団長	小林 誠	第8分団	部 長	堀江 将司	第15分団	副分団長	小澤 直隆
第1分団	部 長	比留間 正吉	第9分団	副分団長	笹本 浩二	第15分団	部 長	澤井 誠治
第5分団	部 長	内海 雄治	第9分団	班長	菅原 一修	第15分団	団員	佐伯 和則
第5分団	班長	内海 輝	第12分団	団員	長崎 益治	第12分団	班長	濱口 敬之
第6分団	部 長	松本 光	第12分団	団員	川崎 元也	第17分団	班長	稲村 幸一
第6分団	班長	高木 重幸	第15分団	分団長	森田 吉隆	第18分団	班長	幸一

広報委員会名簿

会 長		副 会 長		団 長		副 団 長	
本 団	本間 郁浩	第8分団	川崎 好之	第1分団	加辺 良輔	第9分団	小倉 俊秀
第1分団	小倉 俊秀	第15分団	増田 哲也	第2分団	山口 正和	第3分団	村越 俊幸
第4分団	酒井 敬司	第5分団	内海 輝	第6分団	波多江 大介	第7分団	金子 謙輔
第10分団	中島 達朗	第11分団	北村 裕哉	第12分団	林 正大	第13分団	藤原 光輔
第14分団	松村 憲一	第16分団	澤井 政善	第18分団	牛島 徹		

消防団について

消防団は、市町村の非常勤の消防機関であり、その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。



▲農作業中の団員（工作中）

消防団員へ



▲防火服の分団長（活動中）

消防団の主な活動

- 消火・救助・警戒活動
- 消防技術に係る研修・訓練
- 地域の防災訓練指導等



▲放水訓練を行う団員



▲無線機の点検を行う団員

ここでは、市民の皆様にはあまり知られていない消防団員のことをお伝えします。
府中市消防団は府中市に居住・通勤通学している18歳以上で健康な方であれば入団資格があります。
消防団員にも普段の生活があり、会社員、自営業、農家、学生など様々な業種の方が活動しています。その中で、火災等の災害が発生すると現場に駆けつけ、消火活動等を行います。
迅速に消火等を行う為に、月に2回程度ですが各分団の防災センター（消防団の活動拠点）に集まり放水訓練や無線機運用の訓練をしています。
まだまだ、周知されていない事柄は多数ありますが、地域の皆様には消防団活動にご協力をいただけたら幸いです。

第15分団 増田 哲也

分団紹介 (東部)



《第1分団》

第1分団は、比留間隆博分団長を筆頭とし、20代から40代の会社員や自営業などの総勢20名で構成されています。警戒区域は押立町全域で、出動区域は、小柳町、白糸台、朝日町です。点検は月2回で機材の動作確認や放水訓練、警戒区域内の巡回などを行っています。
これからの地域の皆様と協力、連携し消防団活動を行って参りますので支援を宜しくお願いします。



《第2分団》

第2分団は、田中一彦分団長を筆頭とし、総勢26名で活動しております。警戒区域は白糸台全域となりますが、府中市消防団に2台しかない照明電源車も保有していますので、夜間の出動範囲は府中市の半分（テヤキ並木より東側）と広域になります。点検は、月1回全員で集まる全体での点検及び4班に分けての班点検を実施しています。
日頃からの点検・訓練を通じて、府中市、そして地域の防災・減災に貢献できるよう、これからの地域の皆様と協力、連携し消防団活動を行って参りますので支援を宜しくお願いします。



《第3分団》

第3分団は、外崎敬大分団長をはじめとする21名で活動しております。警戒区域は多磨町、紅葉丘、朝日町です。点検は、月3回（2、12、22日）行っております。点検活動は、機材の動作確認や放水訓練、警戒区域内の巡回です。
これからの地域の皆様、地元町内会、企業の皆様と協力、連携し、地域住民の安心・安全を守る為に消防団活動を行ってまいります。



《第4分団》

第4分団は、金井敦史分団長を筆頭に現在24名の分団員で活動しております。若松防災センターを拠点に、警戒区域である若松町、浅間町および周辺区域への消防防災活動を行っております。
火災予防運動や、日々の訓練に努め、今後も地域の皆様の協力をいただきながら消防団活動に努めていきます。



《第5分団》

第5分団は、内海紘行分団長を筆頭に計22名の団員で活動しております。活動警戒区域は小柳町です。毎週金曜日を点検日とし、機材の動作確認、放水訓練、警戒区域の巡回を行っています。
これからの地域の皆様にご協力いただき、皆様の安心安全を守る為、消防団活動を行っていききたいと思います。



《第6分団》

第6分団は、中村善隆分団長をはじめとする20名で活動しております。警戒区域は是政、出動区域は是政を中心に小柳町、清水が丘、八幡町、日吉町、南町、宮町です。
第6分団は府中では珍しい神社の境内（是政八幡神社内）に防災センターがあります。点検は毎月2回、1日と15日に団員全員にて行っております。主に消防ポンプ車両での放水訓練、警戒区域内の巡回、可搬ポンプ等の機材点検などを行い日々消防技術の向上に努めております。
今後も地域の防災リーダーとして市民の安心安全を守っていきけるように日々の活動を頑張っていきます。

分団個別訓練の実施

令和2年7月29日（水）府中消防署内において、規律訓練（基本礼式）及びロープの結び方（基本結案訓練）を実施しました。
本年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為にほとんどの訓練が縮小もしくは中止になり、今回の訓練は数少ない訓練で、規律訓練では団体行動の基本である礼儀姿勢などを基本から学びました。基本



第16・17分団の消防ポンプ車が

新しくなりました



第16分団では、令和2年6月27日に新型ポンプ車が配備されました。

MT車からAT車となった事で運転し易くなり、流量計のデジタル化により数値の確認もし易くなりました。
ポンプ車の更新により団員の士気は益々高まっており、より一層日々の訓練に取り組んでいく所存です。

第16分団 団員 澤井 政善



令和2年6月27日に引渡し式を行い、17分団のポンプ車が新しくなりました。

新しいポンプ車は、オートマチックミッションや液晶パネルによるポンプの動作表示など、進歩した技術が採用されていて、覚え

長い間お世話になった旧ポンプ車との別れは少しさみしい想いもありましたが、新しいポンプ車に団員の士気が上がっているところです。

第17分団 班長 種坂 晃一

お詫びと訂正

令和2年7月発行、消防団だより第52号に掲載しております記事において次のとおり誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

▼「消防団幹部紹介」1行目「【分団長】」は、正しくは「【団本部】」です。

▼「令和元年度中動続4年以上で退団された皆さん」名簿中7行目「第5分団 石井聡史」は、正しくは「第4分団 石井聡史」です。